

DI NEWS PAPER

瓦版

UNBEATABLE PROFESSIONALS AND COMPANY
他をもって替えがたい
人と企業をみぞす

新年の目標

新年！今年の広報活動の目標！

九州第一工業のBIMの活用PR

皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくをお願いを申し上げます。昨年は1月から大きな災害や事故が発生し、胸を痛める年明けとなりましたが、今年は穏やかな年明けになったのではないのでしょうか。新年早々のDI NEWS PAPER瓦版、毎年どんな情報をお届けしようか迷う訳ですが、今年はBIMの活用用途に関するお話を取上げさせていただきます。

さて、近年建設業界はBIMの活用も進み、様々なシーンでBIMという言葉をよく聞かれると思います。私も自社が売りにしている事なので、聞かれたらBIMの説明をする事は可能です。が、ここからです！「BIMをどう活用しているか？」を多くの方にご理解して頂くにはどうしたら良いのか単的に言葉で説明するのが、ま〜難しく手が付けられずにおりましたが、年末の挨拶回りの中で光明が見えました！やはり解決策や打開策は現場にあるものですね！今回は、大好評！？『超ざっくり』のご説明を、初の2話構成のざっくり劇場として、正月でもありますし少々面白おかしくご紹介致します。

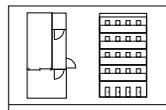


意外と多い『3D』と『BIM』の混同

実は、意外と多い事が解ってきたのが、BIM=3Dと混同している方。パソコンの画面で3Dの建物図面が表示されているので、3Dなのですが、実は全く別物です。

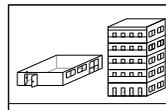
建物を表現するだけならば、3Dで十分ですが、BIMと3Dの大きな違いは「3Dのモデルに様々なパラメータ情報を持っている事。手書き図面や一般的なCADソフトでは柱を書く時、線を引くイメージですが、BIMでは『サイズ等のパラメータ(情報)から、部品を作って、部品を配置する』といったイメージに近いのかも知れませんが！※イメージには個人差がありますが(汗) **そんな感じ!**

ちょ〜、ざっくり 2Dと3DとBIM



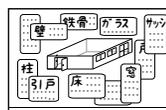
『2D』(2次元)
平面図や立面図など建築図以外では配線系統図なども2次元図。
鉄工所の製作図も2D!

縦(X)と横(Y)に斜め(Z)が追加!



『3D』(3次元)
縦横斜めの3次元で表現。一般的に3Dで書く図面、3Dプリンターなどにも活用!

パラメータのデータが追加!



『BIM』
建築に必要なデータ(パラメータ)を図面に持たせたモデル。建築から施工、後の管理まで一気通貫管理!

パソコンの画面に映るモデルのビジュアルは3Dですが、実は全く異なるのが3DとBIM!ここは押さえたい!

大好評につき 第1話

大好評「ちょう超、ざっくり劇場」

建物が出来る! BIMの出番!

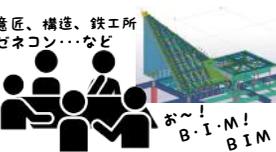
ビルや施設の建設工事の話が始まると、まず施主と設計者の間で打ち合わせが発生します。その際は施主と設計者の想いを絵にした、いわゆるパース(3Dの絵)でイメージなどが中心に打合せされる事が多く、その際はどちらかと言うと『想いを形に』の精神で打ち合わせが進むことが多いでしょうか。勿論かっこいい物がいいですね。



設計
これ造ってよ。
ゼネコン
詳しい
図面くれ!
設計
ま〜いるよな。

さあ、実際に建設に向けて動き出すと、絶対に必要になる『図面』です。意匠設計者の意匠図、構造計算を行う構造図など様々な図面が発生します。ここで登場するのが『BIM』です!設計の段階で建築に必要なデータ(パラメータ)を図面に持たせ、その図面データを共有する事も可能で、1つのデータを竣工後の管理まで使用可能です。

BIMでモデリングする事で、想いを形にする意匠設計。構造計算をする構造設計。実際に物造りをする鉄工所。工事を行う建設会社など、多くの方々が一つのモデリングのデータを基にそれぞれの仕事をしています。さてここで問題が起こる事が有ります。



惜しまれつつ 最終話

大好評「ちょう超、ざっくり劇場」

九州第一工業がBIMで橋渡し!

構造や意匠など、設計の話が進むと、よく発生する問題が『鉄骨の納まり問題』。座標構成により「線で表現した物」を「部材で表現」した時に、鉄骨の納まり問題は多く発生します。そこで九州第一工業は、問題点を解決するご提案や、実際に物造りをする際の、施工図(2D)の作成など、プランを実現する為にお手伝い致します。



今回は紙面サイズの関係により、いつもよりざっくりしたご紹介でしたが、後日ホームページでももう少し詳しく、ご紹介致します。

九州第一工業のBIMの活用は、物造りの視点でBIMを活用しますので、設計者をサポートし、製作に携わる鉄工所もサポートする事で、実際の現場で発生する可能性がある問題を未然に解決するご提案を行う事が出来ます。昨今、特徴的な建物が増える中で、プロジェクトのサポートや橋渡しのお手伝いを行います。



春まで! 公式ホームページ情報強化! (予定)(汗)

これは営業部の悲願でもありました情報公開「BIMの取組」についてご紹介するページを強化する事に致しました! BIMと一言で言っても、意匠設計者のBIM、構造設計者のBIM、ゼネコンのBIMなど、用途が様々でホームページで解りやすく紹介するにはどうしたら良いか表現が難しく、着手するのに二の足を踏んでいましたが、ついに一歩を踏み出す事になりました! 予定としては、WEB上で専用ページの作成と合わせて、簡単なカタログ資料も制作する予定です! ぜひ『優しく』ご期待下さいませ。



九州第一工業 小話

- ★黒木社長: 12月東京出張中。辺りも暗くなり街路樹にもクリスマスの電飾がともも幻想的な表参道で、思わずカメラを構えた黒木社長に『おっさん2人ここで写真撮るのは絶対嫌です!』と常務が一刀両断! バツサリ!!
- ★大神常務: 「浄土真宗なので!」とか言いながらクリスマスは一応料理する大神常務。翌日朝なだかつらそう〜聞くとチキンとパスタの食いすぎたとか(汗) 1人おせち的なにした方が良いのでは? 一人なんだから。ブ。田中
- ★河野さん: 今年は半分を在宅ワークで過ごした河野さん。新年と言う事で久しぶりに社。あれ〜? ちょっとお太り〜サイズUPしてるかな〜? (笑) ん〜何も変わってませんでした。あ! 今月から事務所勤務してます!

謹賀新年 今年も宜しくお願い致します。(社員一周)

新しい年、2025年が始まりました。旧年中は大変お世話になりましたが、本年も変わらぬお引き立てのほど宜しくお願い申し上げます。昨年は、心痛める災害や事件での幕開けとなりましたが、今年は特に大きなニュースに見舞われる事無く、平穏なお正月を過ごさせて頂きました。今年はカレンダーの関係で少々長めの正月休みとなり、社員一同しっかりリフレッシュさせて頂きました。今年も九州を始め、沖縄、本州と広いエリアで『鉄骨のお困りごとは九州第一工業へ!』を合言葉に営業活動を行って参ります。本年も、九州第一工業を重ねて宜しくお願い申し上げます。

発行所: **DI** 空間構造メーカー
九州第一工業 株式会社

本社 〒819-0001 福岡県福岡市西区小戸4-29-50
TEL: 092-894-6800 FAX: 092-891-3147

工場 〒869-4213 熊本県八代市鏡町有佐672
TEL: 0965-52-1910 FAX: 0965-52-1764

会社代表E-mail: di-info@ksdi.jp
営業専用E-mail: di-ssm@ksdi.jp

URL: <https://www.ksdi.jp>

購読料: 永年無料 読んで頂ければ幸いですm(_ _)m 発行: 1ヶ月1回 がんばります!(汗)